

ベトナム木材業界の成長とアメリカ市場への適応

2025年1月13日 作成

カテゴリ ベトナム市場経済 貿易・輸出入

ベトナム木材業界の成長とアメリカ市場への適応

ベトナムの木材業界は、アメリカ市場の新たなトレンドに迅速に対応し、消費者の好みに応じた製品を提供している。

2024年1月～11月における木材および木製品の輸出額は146億ドルに達し、前年同期比で20.5%の増加を記録した。このうち、木製品の輸出は100.6億ドルで、22%の成長を見せた。特に2024年11月には、木材および林産物の輸出が20億ドルを超える、2024年1月～11月の総額は156.2億ドルとなり、19.8%の増加を示した。

アメリカ市場はベトナムからの木材輸出の約53%を占めており、この市場からのポジティブな信号が業界の成長を後押ししている。2024年全体では、木材および林産物の輸出が172億ドルに達する見込みであり、これは前年比で18.9%の増加となる。ベトナム木材・森林製品協会のド・スアン・ラップ会長は、アメリカ市場向けの輸出が162億ドルを超える可能性があると予測している。アメリカ市場の活況について、スカンシアパシフィック社の副社長であるグエン・クオック・バオ氏は、経済やインフレが安定してきたことが輸出促進につながっていると述べている。

また、過去の在庫が解消され、新たな輸入需要が生まれていることも要因である。2024年には17億ドル以上の輸出が期待されている。一方で、2025年には多くの課題が予想されており、特にアメリカ市場での政策変更による影響が懸念されている。木材業界はオンライン販売を強化し、政府に対して貿易防衛策を求めている。ド・スアン・ラップ氏も2025年には多くの挑戦が待ち受けていると警告しており、特にアメリカ市場からの圧力や高関税リスクが存在する。さらに、アメリカは輸入木材に対して厳しい基準を設けており、ベトナム企業は国際法を遵守し環境基準を満たす必要がある。

中国など他国からの輸入木材を他国に転売する原産地詐称も問題視されている。競争相手としてマレーシアやインドネシアなども台頭してきている。このように、ベトナムの木材業界は国際市場で重要な地位を占めつつありながらも、多くの課題に直面している。

以上